

2015/06/14 の定期メンテナンスにおけるアップデート情報

2014年6月14日の定期メンテナンスの、Garoon API及びUser APIに関する追加機能、変更情報をお知らせします。

Garoon API

追加した機能

- APIのバージョンに1.5.0を追加。
- 施設承認の機能追加に対応して、次のAPIを追加。
 - ScheduleGetFacilityProfilesById
 - ScheduleGetFacilityProfileVersions
- 施設承認の機能追加に対応して、FacilityProfileTypeのデータ型を追加。
- 施設承認の機能追加に対応して、EventTypeのデータ型に@facility_using_purposeのパラメータを追加。
 - 施設の承認を必須にした施設の予定をAPIで追加・変更するときに facility_using_purposeのパラメータがない、もしくはfacility_using_purposeに値がない場合、APIの実行はエラーになります。
- 施設承認の機能追加に対応して、以下のAPIとデータ型のパラメータ@module_idに施設の利用申請のアプリケーションIDを追加。
 - NotificationGetNotificationVersions
 - NotificationGetNotificationHistoryVersions
 - NotificationType
 - NotificationIdType
- 施設承認の機能追加に対応して、NotificationIdTypeのデータ型のパラメータ@itemに施設の利用申請のアプリケーションIDを追加。
- 出欠確認の機能追加に対応して、ScheduleSystemProfileTypeのレスポンスに@allow_file_attachmentと@allow_attendance_checkのパラメータを追加。
- メールアカウントの登録、削除の許可の設定の機能追加に対応して、UserAuthoritiesTypeのデータ型に@allow_account_all_permissionのパラメータを追加。

User API

変更対象のAPI

- [ユーザーエクスポート API\(JSON\)](#)
- [ユーザーの所属組織エクスポート API\(JSON\)](#)
- [組織の所属ユーザーエクスポート API\(JSON\)](#)

変更された仕様

- JSONの形式がRFC4627に準拠します。RFC4627の形式に沿わない文字列を送信した場合、以下のようなレスポンスが返されます。

```
{"message":"不正なJSON文字列です。","id":"1505999166-1126250715","code":"CB_IJ01"}
```

- 変更によりエラーになるJSONのサンプル

```
//末尾に余計な", "を含む  
{"ids":[1,2],}
```

```
//キー、またはバリューの文字列をシングルクォートで囲む  
{'ids':[1,2],'size':'1'}
```

```
//cスタイルの複数行コメント (/**/)、またはc++スタイルの行コメント (//) を含む  
{"ids":[1,2]/*comment*/}
```

変更されたエラーコード

リクエストボディを空で送信した場合のエラーコードが変更されます。

CB_IJ01

改修前 エラーレスポンスの例：

```
{"message":"不正なJSON文字列です。","id":"1505999166-1143839730","code":"CB_IJ01"}
```

CB_IL02

改修後 エラーレスポンスの例：

```
{"message":"不正なJSON文字列です。","id":"1505999166-1143839730","code":"CB_IL02"}
```